

令和元年度

第 63 回 簿 記 検 定 試 験

4 級 商業簿記

問 題 用 紙

(制限時間 60分)

(令和元年12月8日施行)

受験上の諸注意

- ・ 答案はすべて答案用紙に記入すること。
- ・ すべての答案用紙に受験番号を記入すること。
- ・ その他答案の作成にあたっては、教科書に基づき日頃
学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・
迅速・整然と記帳すること。

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

1

- 次の文の（ ）の中に適当な語句を記入しなさい。
- (1) 簿記では、資産・負債・資本を増減させたり、収益・費用を発生させたりすることがらを（ ア ）という。
 - (2) 貸借対照表は、企業の一定時点の（ イ ）を明らかにするために作成する。
 - (3) 収益の総額から費用の総額を差し引いて当期純損益を計算する方法を（ ウ ）という。
 - (4) 資本と、資産・負債との関係を示した「資産－負債＝資本」の式を（ エ ）という。
 - (5) 一会計期間の経営活動の結果、期末資本が期首資本よりも増加した場合、この増加額を（ オ ）という。
 - (6) （ カ ）は、すべての勘定口座を集めた帳簿で、貸借対照表および損益計算書を作成するときの資料となる大切な帳簿である。
 - (7) 仕訳帳から総勘定元帳への転記が、正しく行われているかどうか、確かめるために作成する集計表を（ キ ）という。

2

- 次の取引の仕訳を示しなさい。
- (1) 鳥栖商店は現金 ￥600,000 備品 ￥250,000 を出資して、商品売買業を開始した。
 - (2) 鹿島商店から商品 ￥80,000 を仕入れ、代金のうち ￥30,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。
 - (3) 本月分の従業員に対する給料 ￥150,000 を現金で支払った。
 - (4) 佐賀商店は売掛金の一部 ￥90,000 を現金で回収した。
 - (5) 取引銀行から、現金 ￥320,000 を借り入れた。
 - (6) 唐津商店は本月分の家賃 ￥40,000 を現金で支払った。

3

答案用紙の仕訳帳から、総勘定元帳に転記しなさい。ただし、仕訳帳の元丁欄、総勘定元帳の日付・摘要・仕丁・金額の各欄はすべて記入すること。

4

次の空欄に適当な金額を記入しなさい。

期首資本	期 末			収益総額	費用総額	純利益	純損失
	資 産	負 債	資 本				
460,000	(1)	360,000	(2)	320,000	280,000	(3)	—
(4)	921,000	201,000	720,000	(5)	543,000	—	110,000

5

答案用紙の精算表を作成しなさい。

精 算 表
平成〇年 / 2月 3 / 日

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	360,000					
売 掛 金	531,000					
商 品	320,000					
備 品	380,000					
買 掛 金		400,000				
借 入 金		150,000				
資 本 金		()				
商 品 売 買 益		580,000				
受 取 手 数 料		6,000				
給 料	360,000					
支 払 家 賃	90,000					
水 道 光 熱 費	31,000					
雑 費	2,000					
支 払 利 息	4,000					
()						

令和元年度
第 63 回 簿 記 検 定 試 験
4 級 商業簿記
答 案 用 紙

(制限時間 60分)
(令和元年12月 8 日施行)

佐賀県高等学校教育研究会商業部会主催

受験番号	5

1

ア	イ	ウ	エ
オ	カ	キ	

2

	借方		貸方			
(1)						
(2)						
(3)						
(4)						
(5)						
(6)						
受験番号	①	②	③	④	⑤	総得点

3

仕 訳 帳						1
平 ○ 年	成年	摘 要	元 丁	借 方	貸 方	
1	10	(備 品)		250,000		
		(現 金)			250,000	
		パーソナルコンピュータを買い入れ				
	15	(現 金) 諸 口		170,000		
		(商 品)			110,000	
		(商 品 売 買 益)			60,000	
		小城商店に売り渡し				

総 勘 定 元 帳										1
現 金										
平 ○ 年	成年	摘 要	仕 丁	借 方	平 ○ 年	成年	摘 要	仕 丁	貸 方	
1	1	前 期 繰 越	√	620,000						
商 品										3
1	1	前 期 繰 越	√	300,000						
備 品										4
1	1	前 期 繰 越	√	400,000						
商 品 売 買 益										7

4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
¥	¥	¥	¥	¥

受験番号	③	④

令和元年度
第63回簿記検定試験
4級商業簿記

採点基準

(令和元年12月8日施行)

1

ア	イ	ウ	エ
取引	財政状態	損益法	資本等式
才	力	キ	
当期純利益	総勘定元帳	試算表	

2

	借方		貸方	
(1)	現金 備品	600,000 250,000	資本金	850,000
(2)	商品 (仕入)	80,000	現金 買掛金	30,000 50,000
(3)	給料	150,000	現金	150,000
(4)	現金	90,000	売掛金	90,000
(5)	現金	320,000	借入金	320,000
(6)	支払家賃	40,000	現金	40,000

①	②	③	④	⑤	総得点
2点×7=14点	4点×6=24点	元丁欄 1点×5=5点 ※4点×5=20点	3点×5=15点	※2点×11=22点	100点

3

仕 訳 帳					1
平 ○ 成 年	摘 要			元 丁	借 方 貸 方
1	10	(備 品)		4	250,000
		(現 金)		1	250,000
		パーソナルコンピュータを買い入れ			
	15	(現 金) 諸 口		1	170,000
		(商 品)		3	110,000
		(商 品 売 買 益)		7	60,000
		小城商店に売り渡し			

総勘定元帳

現 金

1

平 ○ 成 年		摘 要	仕 丁	借 方	平 ○ 成 年		摘 要	仕 丁	貸 方
1	1	前 期 繰 越	√	620,000	1	10	備 品	1	250,000
※		15	諸 口	170,000					

商 品

3

1	1	前 期 繰 越	√	1	15	現 金	1	110,000

備 品

4

1	1	前 期 繰 越	√					
※		10	現 金	1				

商 品 売 買 益

7

				1	15	現 金	1	60,000
--	--	--	--	---	----	-----	---	--------

4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
¥ 860,000	¥ 500,000	¥ 40,000	¥ 830,000	¥ 433,000

③	④
元丁欄 1点×5=5点 ※4点×5=20点	3点×5=15点

5

精 算 表

平成○年/2月3/日

勘 定 科 目	残 高 試 算 表		損 益 計 算 書		貸 借 対 照 表	
	借 方	貸 方	借 方	貸 方	借 方	貸 方
現 金	360,000			※	360,000	
売 掛 金	531,000				531,000	
商 品	320,000			※	320,000	
備 品	380,000			※	380,000	
買 掛 金		400,000			※	400,000
借 入 金		150,000				150,000
資 本 金		※(942,000)				942,000
商 品 売 買 益		580,000		※	580,000	
受 取 手 数 料		6,000		※	6,000	
給 料	360,000	※	360,000			
支 払 家 賃	90,000		90,000			
水 道 光 熱 費	31,000	※	31,000			
雑 費	2,000		2,000			
支 払 利 息	4,000		4,000			
(当 期 純 利 益)		※	99,000			99,000
	2,078,000	2,078,000	586,000	586,000	1,591,000	1,591,000

※

(注) 当期純利益の記入は、赤字でもよい。

⑤

※2点×11=22点